

令和7年10月16日
都市整備部地下鉄8号線沿線まちづくり担当

本地区の目指す姿「全体目標」

豊かな地域資源を活かし、活気あふれる、安心して暮らし続けられるまち

将来に継承したいまちの良さを大切にしつつ、新駅設置による変化に対応し、安心して暮らし続けられるまちを目指します。

将来へ継承したいまちの良さ

- 下町らしい文化や商店街を中心とした地域コミュニティ
- 落ち着いた居住環境
- 緑や水辺など豊かな自然環境

まちの変化への対応

- 多様な人々に対応した活気あるまちづくり
- 安全・安心に暮らせるまちづくり
- 交通利便性、生活利便性のさらなる向上

本地区の目指す姿「基本方針」

【安全・安心】 災害や犯罪に対応した安心して暮らし続けられるまちづくり

水害や地震などの災害対策や地域のつながりを活かした見守りや声かけなど、犯罪への対策を推進し、全ての人々が安全・安心に暮らし続けられるまちを目指します。

【暮らし・憩い】 利便性が高く暮らしやすいまちづくり

商業機能や飲食店の充実などによる生活利便性のさらなる向上を図りつつ、下町情緒を感じる良好な居住環境を保全することで暮らしやすいまちを目指します。

【水辺・環境】 豊かな緑や水辺を誰もが楽しみ親しめるまちづくり

豊かな緑や水辺に囲まれた地域特性を活かし、居住者、来街者を惹きつける潤いと憩いの場の充実を図り、誰もが楽しみ親しめるまちを目指します。

【交流・にぎわい】 下町らしさを大切にしたにぎわいのあるまちづくり

地域の行事や商店街を中心とした下町らしいコミュニティを維持するとともに、新駅設置による世代や地域を超えた新たな交流機会の創出により、にぎわいのあるまちを目指します。

【交通・つながり】 地域全体がつながり、安全で快適な人にやさしいまちづくり

新駅を中心とした交通結節機能の拡充と歩行者や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに取り組み、安全で快適な人にやさしいまちを目指します。

ゾーン等区分設定とゾーン等の個別目標・取組アイデアの例

水辺交流ゾーン

～多様な交流が生まれる憩いの空間～

個別目標

水面やその周辺の活用により、多様な人々が集い、交流できる空間形成を促進する。

取組アイデアの例

- バリアフリー化やベンチの設置など、安全で過ごしやすい憩いの場の創出
- 川を活用した体験やイベントなどによる水辺の活性化や魅力の向上

コミュニティゾーン

～コミュニティの核となるにぎわい空間～

個別目標

美術館通りや宇迦八幡宮を中心としたにぎわいや地域コミュニティを形成する。

取組アイデアの例

- 地域のにぎわいにつながる店舗の誘導やまち並みづくり
- SNS等を活用した地域イベント等の情報発信

交流にぎわい軸

～コミュニティをつなぐ歩行空間～

個別目標

安全で快適な歩行空間の確保に加え、コミュニティを地域全体へ広げるだけでなく、隣接する地域とのつながりを強化する。

取組アイデアの例

- バリアフリーに配慮した誰もが気持ちよく過ごすことができ、にぎわいがつながる道路空間づくり
- 現代美術館や隣接地域と連携したイベントなどによる地域らしさの創出

南北交通軸・東西交通軸

～人とまちをつなぐ大通り～

個別目標

地区内外の人や物をつなぐ広域的な連携軸として、安全で快適な道路空間や緑豊かで魅力的な沿道空間を形成する。

取組アイデアの例

- 道路拡幅に伴う歩道のバリアフリー化や無電柱化などによる安全で快適な道路空間づくり
- シェアサイクルポートの整備などによる地区内外のネットワークづくり
- 地域のボランティア等による緑豊かな沿道空間づくり
- 魅力的な沿道の景観を形成するための目標づくり

みどり憩いゾーン

～のびのび楽しい憩いの空間～

個別目標

地区内外の人々が親しみ、楽しめる潤いと憩いの空間形成を推進する。

複合市街地ゾーン

～安全・安心で心地よいまちなか～

個別目標

人々の暮らしや営みが感じられるまちなかづくりと災害対策など安全・安心な暮らしの基盤の整備に取り組む。

取組アイデアの例

- 地域の見守り活動などによる安心して子育てできる環境づくり
- 公共施設や集会所を活用したまちなかの居場所づくり
- 地域のルールづくりなどによる居住環境の維持継承
- 水害等に対応した建物の整備促進や連携体制の構築

防災生活ゾーン

～災害に強いまちなか～

個別目標

小規模敷地の多い市街地の地震や火災への防災性を高めながらも、下町らしく住み続けられるまちづくりに取り組む。

取組アイデアの例

- 消防団や災害協力隊（自主防災組織）等による、いざというときの助け合いネットワークの構築
- 耐震化や細街路の拡幅などによる安全・安心なまちづくりの推進

駅近傍ゾーン

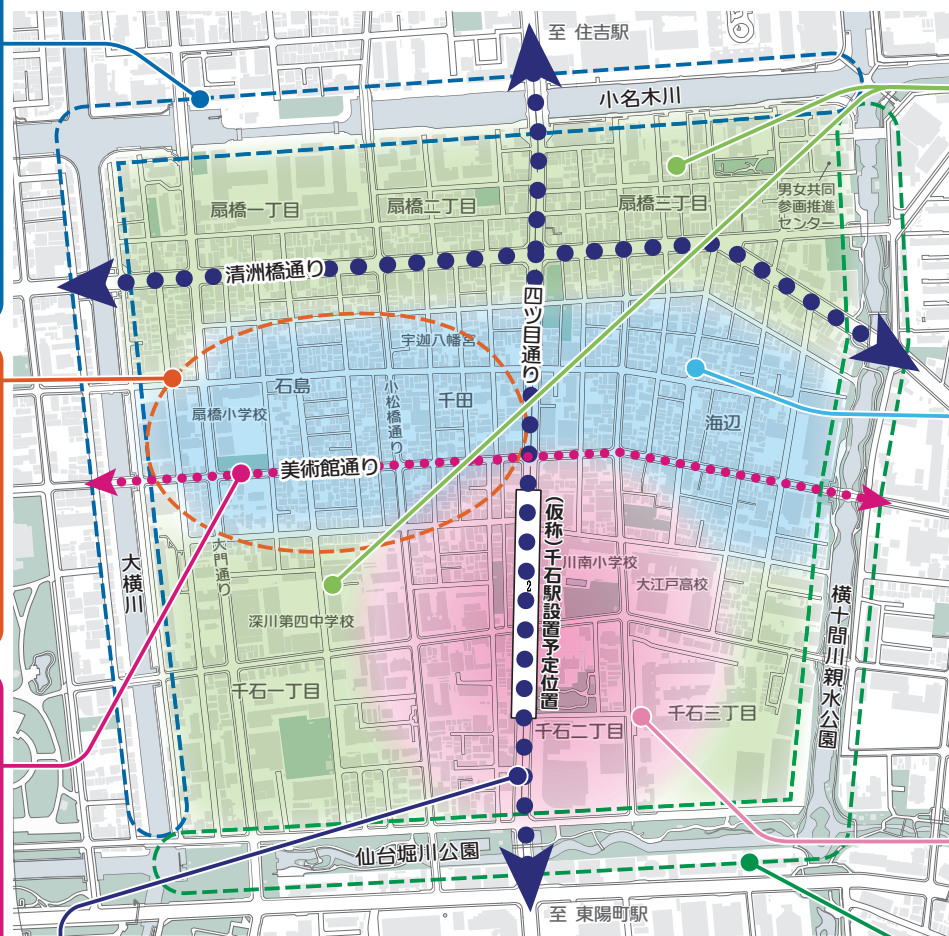
～まちの顔となる交通・交流の結節点※1～

個別目標

生活利便施設の誘致や駅前機能の整備などによって交通・交流・生活におけるまちの顔となる空間を形成する。

取組アイデアの例

- 駅前機能（広場、自転車駐車場、店舗等）の整備による地域の拠点づくり
- ユニバーサルデザインに配慮した駅前空間の整備
- SNSやデジタルサイネージ※2等を活用したまちの情報発信



※1 結節点

地下鉄、バス、自転車などの異なる交通手段が接続する場所であり、地区内外の人をつなぎ、交流を生み出す場所。

※2 デジタルサイネージ

ディスプレイやモニターなどの電子表示媒体を活用した情報発信システム。